

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：保健予防諸費

事業名 原爆被爆者健康管理生活指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内3313)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 200 千円 (前年度予算額： 200 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	200	35	0	0	0	0	0	0	165
要求額	200	17	0	0	0	0	0	0	183
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内に在住する原子爆弾の被爆者に対し、健康管理や生活指導を行う。

(2) 事業内容

県内在住の被爆者に対する相談会を開催し、医師、ケースワーカーのもとで健康管理や生活指導を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内在住の被爆者の円滑な健康管理、生活を確保する必要があり、一部国庫補助により実施する。

国 1 / 2 (1 回あたり上限 8,690 円)

「原爆被爆者保健福祉施設運営費等補助金(原爆被爆者相談事業)」

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	200	相談員報償費、旅費等
合計	200	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

国・他県の状況

厚生労働省補助事業

原爆被爆者保健福祉施設運営費等補助金（原爆被爆者相談事業）

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
原子爆弾被爆者のうち、県内在住者の健康及び生活支援を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

事業内容から達成すべき目標値の設定にそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	○個別相談 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から1対1の個別相談会を実施し、被爆者の健康管理及び生活指導の支援に資することができた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和5年度	○第1回相談会 令和5年10月22日 第2回相談会 令和6年 3月22日 被爆者の健康管理及び生活指導を実施し、その支援に資することができた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和6年度	○第1回相談会 令和6年11月10日 第2回相談会 令和7年 3月14日 被爆者の健康管理及び生活指導を実施し、その支援に資することができた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	被爆者が高齢化する中、その健康管理を生活指導は引き続き必要である。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	被爆者が高齢化する中、健康及び生活支援などに寄与し、成果を出せている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	被爆者のニーズに合わせて、医師やケースワーカーなど支援者を変更しながら、的確に健康及び生活支援につながるよう、運用を行っている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 特になし

(次年度の方角性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、健康管理及び生活指導の機会を確保していく。
